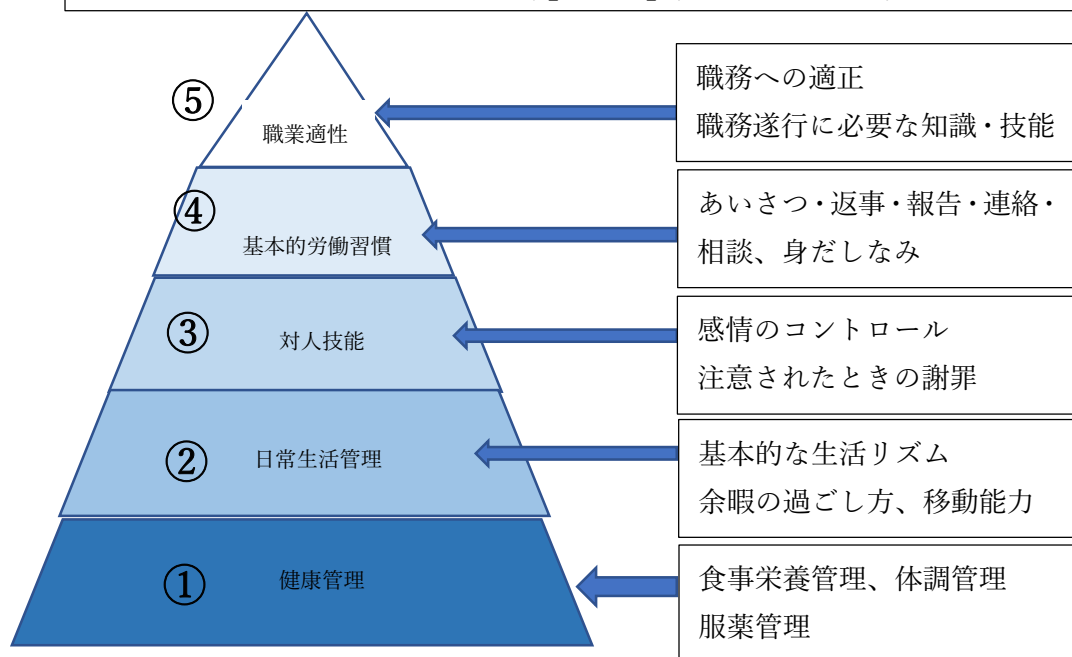


【今回のテーマ】職業準備性について

今回は、「職業準備性ピラミッド」について紹介します。「職業準備性」という言葉は、就労移行支援事業の利用や企業就労を目指す際によく聞く言葉です。しかし、「職業」「働く」といっても、賃金が発生する労働に対してだけの話ではありません。「社会の一員として人と楽しく社会生活を送ったり働いたりすることができるようになるために、「今」「日々」何ができるのか考えてみましょう。



**下(土台)から
着実に積み上げていくことが
大切です。**

職業準備性には、「健康管理」「日常生活管理」「対人技能」「基本的労働習慣」「職業適性」という5つの資質があり、これらを階層別に整理したものが「職業準備性ピラミッド」と呼ばれています。下から順番に基礎的な資質で、積み上がっていることが重要です。ピラミッドを構成する5つの資質について、具体的な内容をご紹介します。

① 心と体の健康管理

自身の障がいについて正しく理解し、働くことの基盤となる体調を日々しっかりと整え維持していくことを指します。

② 日常生活管理

規則正しい生活をし、地域社会などの利用可能な地域の資源やサービスをうまく活用して生活を営むスキルのことを指しています。家族からの支援だけではなく地域のサービスなどを活用することで、生活が楽になるということもあります。

③ 対人スキル

どんなところで生活していくにも対人関係は非常に重要となります。お互いが不快になることなく、意思疎通を図ることができるようなコミュニケーション能力が必要となります。

④ 基本的労働習慣

基本的労働習慣とは、挨拶などの社会人としての基礎的なビジネスマナー、報告・連絡・相談の習慣付け、社会や組織で守るべきルールの遵守などのことを指しています。

⑤ 職業適正

作業能力の自覚(適正・量)・作業速度・効率の向上・指示理解・作業の正確性・作業環境の変化への対応などが該当します。

6月2日～13日の2週間、高等部は校内実習(1学年)、個別の現場実習(2, 3学年)があります。普段学習していることを存分に生かして頑張っ
てほしいと思います。実習が終わったら、実習の様子についてお知らせしたい
と思いますので、お楽しみに。

